



総合消防マスコットマーク
“りゅうじんくん”

広域消防 おおず

第
115
号

2022.4

構成市町
大洲市
内子町



元気いっぱいの認定こども園愛媛帝京幼稚園児が、秋季火災予防運動の一環として昨年11月11日に防火パレードを行いました。DCMダイキ大洲店からオズメッセまでの国道沿いを、火の用心の法被姿で一生懸命に、そしてかわいく行進しました。

園児には、火災予防の意識付けができたと思います。

大洲地区広域消防事務組合
ホームページから、申請・
届出の様式をダウンロード
できます。

<http://ozu119.jp/>

シリーズ わが町の消防団！ No.57

ホースを継ぐ水を継ぐ 白滝分団

大洲市消防団白滝分団 分団長 後藤 忠信



大会の警戒活動、11月に中継送水訓練等を、例年はしています。しかし、去年と今年とは、コロナ関係で十分な活動は出来ていません。ただし、その中でも山林火災を想定した中継送水訓練だけは、去年も今年も私達だけでやっています。例年は消防署員さんの指導を受けるのですが、これもコロナで見送りました。

写真は、その時の様子です。ちなみに、団員の前で指揮をしている長身の男前は、私ではありません。

私達白滝分団は、清流肱川河口の上流約6kmに位置しています。肱川河口に向かって、右岸は白滝中心地の白滝地区で、秋の紅葉の季節には大勢の観光客で賑わう1部、その少し下流に4部、標高971mの壺神山の中腹に位置する戒川地区の2部、左岸は柴地区の3部です。

団員は4部総勢79名です。この内、女性団員が5名、機能別団員が8名で、団員全員が活躍しています。

主な活動は、6月に新入団員歓迎会、7月に出石寺無火災祈願とその後の懇親会、8月に白滝うら盆祭り花火



また、6基の樋門管理を担当しており、肱川の洪水のときに出勤しています。前回のような、被災しないダムをの放流を願うばかりです。

119番通報時の口頭指導



火事ですか？
救急ですか？



救急車を
お願いします

交通事故でのけが人や自宅での急病人が発生したときなど、消防署（消防本部通信指令室）に119番通報があります。

この通報の内容に応じて、通報者に応急手当の方法に

ついて、指導しています。救急車が現場に着くまでに、現場に居合わせた人が応急手当をすることで、傷病者の状態を悪化させないことができます。特に、心肺停止のときは、「心肺蘇生法」を電話で指導します。

通報者や現場に居合わせた人は、電話で聞いた指導内容を、行える範囲でご協力をお願いします。

また、この他の場合も、状況に応じた電話での口頭指導を行いますので、ご協力をお願いします。



消防職員の 地理・水利 把握

119番通報で消防職員が現場に向かうときは、ナビではなく地図を頼りにしています。

消防車や救急車がスムーズに現場に行くために、日頃から管轄する地域へ赴き地理の確認をしています。地理の他に、火災の時に使用する消火栓や防火水槽等も併せて確認をしています。主に、消防職員が休みの日に行っていますので、私用車や私服で各地域へおじゃまをしています。この様子を見た住民の皆さんに、不審がられることもあるようです。

また、1年を通して行っていますが、特に多いのは、

異動の時期を含む3月から5月頃になります。この数か月間は、見たことのない車が皆さんの地区を通ります。ときには、停まって地図を確認したり、車から降りて歩きながら水利を確認したりすることもあります。

皆さんがこのような光景を見かけたときには、気軽に声をかけてください。住民の皆さんと話すことで、よりよい地理や水利の把握につながります。





救助訓練

内子消防署

内子消防署は、1月12日と17日の2日間内子運動公園で救助訓練を行いました。

二宮署長以下、28名の職員が非番日に参加し熱心に訓練に取り組みました。豪雨等の増水により河川の中州に取り残された人を救出する中州救助と、崖下等の低所にいる人を引き上げて救出する低所救助を、本番さながらに訓練しました。

主力隊員として訓練をした別宮消防副士長は、「実際に立木等を利用して救助現場に近い環境でできたこの訓練は、とても有意義でした。特に経験の浅い若い隊員には本番の疑似体験ができたことと思います。」と、厳しい訓練をやり切った表情で話していました。

内子町で救助出動をするときには、この訓練が生かされることと思います。

消火器の適切な維持管理

— 防火対象物等に設置義務のある消火器の点検 —

適応火災のマークが文字で表示されている消火器や「設計標準使用期限」が記載されていない消火器は、型式が失効した旧規格のものです。

※ 製造年が2010年以前のもは、すべて「旧規格」の消火器です。

※ 製造年が2012年以降のもは、すべて「新規格」の消火器です。

老朽化した消火器を操作、廃棄処理しようとした際に消火器が破裂し受傷した事故の発生等を踏まえ、店舗や旅館、病院や老人施設、幼稚園や学校等の防火対象物等に設置義務のある消火器については、消火器の点検基準の改正により下記の点検が必要です。消火器を安全に使用するため、適切な維持管理をお願いします。

ただし、家庭用の消火器は、対象外です。

1 内部及び機能点検

(1) 蓄圧式消火器

製造年から5年を経過したものについて実施する必要があります。

(2) 加圧式消火器

製造年から3年を経過したものについて実施する必要があります。

※ 製造年から3年又は5年を経過していない場合であっても、消火器の外形の点検において安全栓等に異常が認められた場合は、消火器の内部及び機能の点検が必要になります。

※ 二酸化炭素消火器及びハロゲン化物消火器を除



きます。

2 耐圧性能点検

製造年から10年を経過した消火器又は消火器の外形の点検において、本体容器に腐食等が認められたものについて、耐圧性能点検が必要になります。

※ 耐圧性能点検を実施してから3年を経過していないものと、二酸化炭素消火器及びハロゲン化物消火器を除きます。



カメラレポート

令和4年1月26日

大洲消防署と内子消防署は、第68回文化財防火デーを中心に、文化財の立入検査をしました。消火器等の消防用設備が正しく維持管理されており、貴重な文化財が守られていました。写真は、大洲市河辺町での立入検査の様子です。



令和3年12月23日

大洲市消防団女性分団が、肱川こども園で「ぼうさいダック」を行いました。ぼうさいダックとは、日常の危険から身を守ることを学ぶ子供向けのゲームです。園児は、防災について元気よく楽しそうに学びました。



令和3年12月16日

大洲消防署本署と同署長浜支署は、長浜高等学校と大洲高等学校をWeb（ウェブ）でつなぎ、心肺蘇生法の講習をしました。両高校の生徒が、倒れた人の観察要領や胸骨圧迫について研修しました。



長浜高校



大洲高校

令和3年12月8日

大洲消防署長浜支署は、長浜高等学校主催の避難訓練に立会いました。長浜保育所とグループホーム春の風も参加しました。写真は、園児が元気よく一生懸命に避難をする様子です。



令和3年11月19日

消防本部予防課は、大洲警察署と危険物等運搬車両合同立入検査をしました。写真は、大洲市平野町での移動タンク貯蔵所立入検査の様子です。



令和3年11月2日～5日

消防本部予防課は、大洲市と内子町の小学生を対象に募集した防火ポスター全作品（113点）を、大洲市立図書館で展示しました。



救急病院案内 (0893) 24-7000

曜日	病院名	電話番号
月・火	市立大洲病院	(0893) 24-2151
水	昼間 加戸病院 (08:30~17:30)	(0893) 44-5500
	夜間 喜多医師会病院 (17:30~08:30)	(0893) 25-0535
木	昼間 大洲記念病院 (08:30~17:30)	(0893) 25-2022
	夜間 市立八幡浜総合病院 (17:30~08:30)	(0894) 22-3211
金・土	大洲中央病院	(0893) 24-4551
日	昼間 大洲中央病院 (08:30~18:00)	(0893) 24-4551
	夜間 市立八幡浜総合病院 (17:30~08:30)	(0894) 22-3211

大洲喜多休日夜間急患センター

診療科目	「内科」初期救急
診療時間	平日・土曜 午後7時～午後10時 日曜・祝日 午前9時～午後6時 日曜（夜間） 午後7時～午後10時 (詳しくは、大洲市ホームページをご覧ください。)
電話番号	(0893) 23-1156

令和4年4月発行

発行・編集 大洲地区広域消防事務組合
〒795-0012 大洲市大洲1034-4

代表	24-0119	大洲消防署 本署	24-0119
総務課	24-2666	同上 長浜支署	52-0119
予防課	24-2667	同上 川上支署	34-2851
警防課	24-2668	内子消防署 本署	43-0119
		同上 小田出張所	0892-52-3292

ホームページ <http://ozu119.jp/>

※ 当直病院の交替（水・木・日曜日の昼間と夜間の交替以外）は、担当曜日最後の翌朝8時30分です。病院受診の際には、当直病院へお問合せください。